

F Mアップルウェーブ 第120回放送番組審議会

開催日時	令和2年7月11日(土) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)
出席委員	委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、大西 晶子
会社側出席者	代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 正直 放送部統括マネージャー:花田 由香子
議題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 9月17日(土)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 『ひなと始めるラジオ生活』</p> <p>① ユーチューバーでもあるH I N Aによる、Twitter とリンクした内容の番組という新しいスタイルの番組。20年続くコミュニティFMだからこそこういった地元アーティストを起用した番組が制作できるのでは。初回なので、本人の曲ばかりだったが、今後は彼女ならではの選曲で番組構成し、彼女のファン以外も取り込めるような番組になってほしい。</p> <p>② 噛まないし、言葉もテンポよく出てくるし、リスナーとのやり取りの中での受け答えもしっかりしていて、喋りがとても上手という印象。専門用語や略語が多く、発見があった。PCでの楽曲制作の話は感心した。アニメやゲームミュージックについても詳しいので、新たなリスナーも増えるのでは。今後への期待大。</p> <p>③ とても聴きやすい声。楽曲も好印象。自己紹介として自分を語っていたが、もっと経歴や家族についてなどの話があるべきだった。話の流れにメリハリがない。もっと生活感を出しても良かったのでは。たとえば震災やコロナ禍の今を受けて制作した彼女の楽曲を聞きたい。</p> <p>④ パーソナリティ二人の落ち着いた口調がとても聴きやすい。インタビュー内容や、経歴談の紹介は普段聞けない話なので続けてほしい。人のところに寄り添うことの難しさを痛感。石岡さんのいじめ体験を二人が傾聴している現場に同席しているように感じた。</p> <p>⑤ プロフィールとは経歴のこと。自己紹介で語っていたことはプロフィールではなく近況報告であった。シンガーソングライターになるまでの過程・経歴を語るのがリスナーへの配慮である。リスナーを引き込む力が足りない印象。今後の成長に期待する。</p> <p>⑥ こういった地元アーティストを起用するアップルウェーブの方針に感心する。ラジオパーソナリティとして進行している話し方、間の取り方は非常に落ち着いていて、慣れている印象。地元中心ではなく、もっと幅広く活躍してほしい。ラジオでは姿が見えないので、もっと本人のパーソナルな部分を打ち明けるような深い話をしてほしい。</p> <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <p>1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>